

平成 27 年真宗大谷派得度式

平成 27 年 8 月 7 日

京都 東本願寺

真宗の僧侶になるための儀式が 8 月 7 日、京都の東本願寺にて執り行われた。

真宗大谷派では、親鸞聖人が 9 歳で得度されたことから得度式は 9 歳以上とされており、通常は 1 月と 12 月を除く毎月 7 日に行われるのだが、8 月は夏休みがあることでお子様の参加が多いことから臨時に 2 回開催される。これに浄泉寺の赤羽根證信住職のお孫様 2 名が参加された。

大寝殿には、受式する僧侶の卵が全国から 108 名集合し、白い浄衣（じょうい）に着替え式場の御影堂に移動、いずれも緊張の面持ちで式に臨み、大谷暢頭（ちょうけん）門首による「剃刀の儀」を受け「法名」と「黒袈裟」を授かった。その後、真宗本廟に戻り一人ひとりに度牒（どちょう：僧尼としての身分証）と法名の伝達がされ僧侶としての第 1 歩を歩みだした。

以下の写真は、この式典の一部を紹介するため編集したものです。





京都への新幹線の中で



金閣寺を見学。「明日には丸坊主」を意識していない様子



浄衣に着替えて得度に備えます



浄衣を脱いで黒衣に着替えて次の準備をします



法名授かる：釋樹真 釋尼美稱





ご住職等ご家族もお喜びです

